

平成23年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	独立行政法人防災科学技術研究所施設整備に必要な経費		担当部局庁	研究開発局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度～		担当課室	地震・防災研究課		地震・防災研究課長 寺田 博幹		
会計区分	一般会計		施策名	X-9 安全・安心な社会の構築に資する科学技術の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	独立行政法人防災科学技術研究所法第十五条		関係する計画、通知等	「我が国の中長기를展望した科学技術の総合戦略に向けてポスト第3期科学技術基本計画における重要政策」(平成21年12月25日科学技術・学術審議会基本計画特別委員会)「防災基本計画」(平成20年2月最終改訂 中央防災会議)等				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	防災科学技術に関する基礎研究及び基盤的研究開発、それらに係る成果の普及及び活用の促進等の業務を総合的に行い、防災科学技術の水準の向上を図り、成果の防災対策への反映を図ることにより、災害から人命を守り、災害の教訓を活かして発展を続ける災害に強い社会の実現に貢献する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	科学技術・学術審議会測地学分科会で弱体化しつつあると指摘されている大学の研究観測網を補うため、火山観測施設を整備し、我が国の火山噴火予測研究を強化する。また、平成23年3月11日に発生した東日本大震災により被害のあった防災科学技術研究所つくば本所(茨城県)の研究施設・設備について復旧に必要な整備を行う。(補助率:100%)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算				70	6,302	
		繰越し等				980		
		計				1,050	6,302	
	執行額							
	執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	火山観測施設を整備することにより、大学の研究観測網を補い、火山噴火予測研究を強化すること。また、防災科学技術研究所つくば本所(茨城県)の研究施設・設備について、復旧に必要な整備を行うことにより、防災関係機関等への情報提供機能及び研究開発能力を維持・強化すること。		成果実績					
			達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	施設設備の整備 実施件数		活動実績(当初見込み)				()	()
単位当たりコスト	(円/)		算出根拠	<ul style="list-style-type: none"> ・実施する全ての事業について、コスト削減、業務効率化等の観点から、過年度の費用実費なども踏まえつつ、横断的に業務計画案の確認を行うなど、効率的な事業の実施に努力している。 ・また、調達にあたっては、これまでの調達実績をデータベース化するとともに他機関における調達実績も活用した調達コストの削減、外部有識者による契約監視委員会による透明性の確保等により、調達コストの妥当性を確保する仕組みを構築している。 ・これらにより、効率的な予算執行、コスト削減を図った上で成果の創出に努めている。 				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	火山活動観測施設整備(独立行政法人防災科学技術研究所施設整備費補助金)	70百万円	350百万円	○火山観測施設整備H23年度事業完了に伴う減(△70百万円) ○東日本大震災復興関連事業(要求額 350百万円) 東日本大震災からの復興の基本方針に基づく必要な整備に伴う増				
	実大三次元震動破壊実験施設整備(独立行政法人防災科学技術研究所施設整備費補助金)	0百万円	4,375百万円	○実大三次元震動破壊実験施設(E-ディフェンス)関連整備(375百万円) E-ディフェンスにおける実験に必要な整備(保守)に伴う増 ○東日本大震災復興関連事業(要求額 4,000百万円) 東日本大震災からの復興の基本方針に基づく必要な整備に伴う増				
	地震観測施設整備(独立行政法人防災科学技術研究所施設整備費補助金)	0百万円	1,577百万円	○東日本大震災復興関連事業(要求額 1,577百万円) 東日本大震災からの復興の基本方針に基づく必要な整備に伴う増				
	計	70百万円	6,302百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>平成23年度事業においては、計画的な整備を着実に実施する観点から現状を維持した上で、他の事業に対する公開プロセスでの指摘等を踏まえ、競争参加条件等のより一層の見直しを図るなど、契約の競争性、公平性、透明性を確保するとともに、予算の硬直化を防ぐため、後年度負担も念頭に整備内容を精査することにより、事業の効率化を一層進めていくことを確認した。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
—	<p>本事業は、執行面における課題もなく、事業の成果目標もたてられていることから、適切な事業と認められる。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
—			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
—			

文部科学省
1,050百万円

事業概要
独立行政法人防災科学技術研究所に対し、その業務の財源に充てるために必要な金額を交付

〔交付〕

〔A〕
(独)防災科学技術研究所(施設整備費事業)
火山活動観測施設整備
70百万円

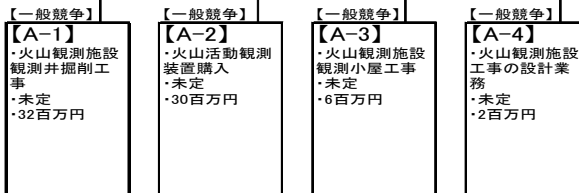
〔交付〕

〔B〕
(独)防災科学技術研究所(施設整備費事業)
つくば施設整備
980百万円

事業概要
活動が活発化している火山(草津白根山)の活動を高精度で把握し、火山噴火予知研究と火山防災に役立てるため、1カ所の火山活動観測施設を整備。

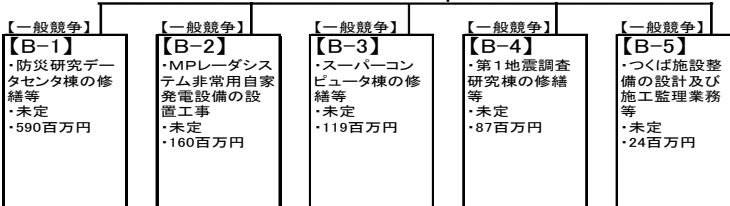
事業概要
平成23年3月11日に発生した東日本大震災で被災したつくば本所施設・設備の必要な修繕を行うとともに、自然災害等に強い施設・設備を実現することで、災害時における防災関係機関等への情報提供機能及び研究開発能力を維持・強化する。

〔A〕(独)防災科学技術研究所(施設整備費事業)
火山活動観測施設整備



事業概要 火山観測施設の整備に伴う孔井式地震傾斜観測装置を設置する観測井の掘削工事	事業概要 火山観測施設に設置する孔井式地震傾斜観測装置、GPS観測装置、テレメータ装置等の購入	事業概要 火山活動観測装置等を設置するための観測小屋等の設置工事	事業概要 火山観測施設観測井掘削工事及び観測小屋工事の設計業務
--	--	-------------------------------------	------------------------------------

〔B〕(独)防災科学技術研究所(施設整備費事業)
つくば施設整備



事業概要 内壁及び設備等の補修、Hi-net、F-net、K-NETシステムの復旧、防災科研データ公開機能等の復旧	事業概要 MPレーダシステム非常用自家発電設備の設置工事	事業概要 計算機室及びSE室の床下補修、計算機の室粉塵除去、非常用自家発電設備設置工事	事業概要 内壁及び設備等の補修、システム室の空調設備補修等	事業概要 非常用自家発電設備設置工事等にかかる設計及び施工監理業務
--	---------------------------------	--	----------------------------------	--------------------------------------

※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記載したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごと に最大の金額が支出され ている者について記載す る。費目と使途の双方で 実情が分かるように記 載)	A.(独)防災科学技術研究所(施設整備費事業) 火山活動観測施設整備			E.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	事業費 (物件費)	火山観測施設建設及び観測機器 購入・設置	70			
	計		70	計		0
	B.(独)防災科学技術研究所(施設整備費事業) つくば施設整備			F.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	事業費 (物件費)	防災研究データセンター棟の修繕 等、第1地震調査研究棟の修繕 等、スーパーコンピュータ棟の修 繕等、MPレーダシステム非常用 自家発電設備設置	980			
	計		980	計		0
	G.			G.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計			計		0	
D.			H.			
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
計		0	計		0	

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の金
 額が支出されて
 いる者について
 記載する。費目
 と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A-1					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事	火山観測施設観測井掘削工事	32			
計		32	計		
A-2					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
購入	火山活動観測装置購入	30			
計		30	計		
A-3					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事	火山観測施設観測小屋工事	6			
計		6	計		
A-4					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務等	火山観測施設工事の設計業務	2			
計		2	計		
B-1					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務等	防災研究データセンタ棟の修繕等	590			
計		590	計		
B-2					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事	MPLレーダシステム非常用自家発電設備の設置工事	160			
計		160	計		
B-3					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務等	スーパーコンピュータ棟の修繕等	119			
計		119	計		13
B-4					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事	第1地震調査研究棟の修繕等	87			
計		87	計		
B-5					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務等	つくば施設整備の設計及び施工監理業務	24			
計		24	計		

文部科学省
1,050百万円

事業概要
独立行政法人防災科学技術研究所に対し、その業務の財源に充てるために必要な金額を交付

〔交付〕

【A】

(独)防災科学技術研究所(施設整備費事業)
火山活動観測施設整備
70百万円

〔交付〕

【B】

(独)防災科学技術研究所(施設整備費事業)
つくば施設整備
980百万円

事業概要

活動が活発化している火山(草津白根山)の活動を高精度で把握し、火山噴火予知研究と火山防災に役立てるため、1カ所の火山活動観測施設を整備。

事業概要

平成23年3月11日に発生した東日本大震災で被災したつくば本所施設・設備の必要な修繕を行うとともに、自然災害等に強い施設・設備を実現することで、災害時における防災関係機関等への情報提供機能及び研究開発能力を維持・強化する。

【A】(独)防災科学技術研究所(施設整備費事業)
火山活動観測施設整備

【一般競争】

【A-1】
・火山観測施設
観測井掘削工事
・未定
・32百万円

事業概要

火山観測施設の整備に伴う孔井式地震傾斜観測装置を設置する観測井の掘削工事

【一般競争】

【A-2】
・火山活動観測
装置購入
・未定
・30百万円

事業概要

火山観測施設に設置する孔井式地震傾斜観測装置、GPS観測装置、テレメータ装置等の購入

【一般競争】

【A-3】
・火山観測施設
観測小屋工事
・未定
・6百万円

事業概要

火山活動観測装置等を設置するための観測小屋等の設置工事

【一般競争】

【A-4】
・火山観測施設
工事の設計業務
・未定
・2百万円

事業概要

火山観測施設観測井掘削工事及び観測小屋工事の設計業務

**【B】(独)防災科学技術研究所(施設整備費事業)
つくば施設整備**

【一般競争】	【一般競争】	【一般競争】	【一般競争】	【一般競争】
【B-1】 ・防災研究データセンタ棟の修繕等 ・未定 ・590百万円	【B-2】 ・MPLレーダシステム非常用自家発電設備の設置工事 ・未定 ・160百万円	【B-3】 ・スーパーコンピュータ棟の修繕等 ・未定 ・119百万円	【B-4】 ・第1地震調査研究棟の修繕等 ・未定 ・87百万円	【B-5】 ・つくば施設整備の設計及び施工監理業務等 ・未定 ・24百万円

事業概要 内壁及び設備等の補修、Hi-net、F-net、K-NETシステムの復旧、防災科研データ公開機能等の復旧	事業概要 MPLレーダシステム非常用自家発電設備の設置工事	事業概要 計算機室及びSE室の床下補修、計算機の室粉塵除去、非常用自家発電設備設置工事	事業概要 内壁及び設備等の補修、システム室の空調設備補修等	事業概要 非常用自家発電設備設置工事等にかかる設計及び施工監理業務
--	----------------------------------	--	----------------------------------	--------------------------------------

※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記載したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。